

が予想されます。基礎事項や立体化学は、用語を理解し、該当する構造を確実に選べるようにしましょう。また、化学反応は、各々の反応の特徴を理解した上で、反応主生成物の構造を判断できるようにしましょう。

糖やアミノ酸をはじめとする『生体成分の構造、それに関連する化学反応』『医薬品の化学』は頻出ですので必ず復習しましょう！そして、忘れてはいけないのが『生薬』です！暗記すればそのまま得点につながる可能性が高い『代表的な生薬及び確認試験』、基本の理解を必要とし構造を見て判断する『生合成経路』に加え、実務分野になりますが『漢方処方』の基礎についても学びましょう！  
最後は気力です！1点でも多く得点してください！

## 生物

生物では、基本的な内容を問う問題から図・表や実験問題など考える力を必要とする問題まで幅広く出題されています。直前期は特に、以下の頻出範囲の既出問題に合わせてその『周辺知識全体の理解』を意識しましょう！

機能形態学は、『臓器・組織の構造や機能』、微生物学は、『細菌・ウイルスの特徴』を見直しましょう。生化学・分子生物学は、『生体成分(脂質・糖質・アミノ酸・核酸など)の構造や代謝』、免疫学は、『免疫担当細胞・抗体の構造や機能』の全体像を意識しながら復習することが大切です。

また、医療系科目に関連する内容(薬の作用機序、病態形成、感染症など)は実践問題での出題が予想されますので忘れずに復習しましょう。

## 衛生

衛生の近年の傾向として、出題形式に関しては『図・表』、『構造』が目立ちます。図・表は推移や特徴を把握し、グラフなどが変化している理由を確認しましょう。構造は、構造を目にしたときにその化合物の特徴が思い出せるようにしましょう。

また、出題範囲に関しては、大きく4範囲を押さえて学修しましょう。

①『既出問題』は、正解を暗記するだけでなく、一記述ごとのポイントとなるキーワードを確認しましょう。

②『実験』は、測定対象物質、試薬と実験の目的、結果、考察を確認しましょう。

③『法律』は、改正点のポイントを確認しましょう。

④『トピックス』は、今年話題となった公衆衛生を確認しましょう。

衛生は年明けからでも得点がグンと伸びる科目です。最後まで諦めず点数を伸ばしましょう！

## 薬理

薬理は、出題基準に沿って満遍なく出題されます。また、既出問題の内容を理解した上で考えて正答を導く必要があります。未出題薬物は、過去3～4年分の問題文中に、関連する機序やキーワードが前振りとして記載されています。

また、臨床現場(実務実習等)で学んだ知識を生かす問題も出題されており、特に『検査値から問題点を把握し、解決策を作用機序から考える力』が問われています。

このような問題を正解するためには、既出問題の正誤をただ判別するだけでなく、既出問題の内容を『自分で説明できる』まで演習する必要があります。特に出題頻度が多い、①自律神経系②中枢神経系③循環器系④代謝系⑤感染症・悪性腫瘍に関わる薬物は重点的に見直しを実施しましょう。

## 薬剤

近年の傾向として、理論問題や実践問題は、既出問題の内容を中心とした出

題であるが、周辺知識や応用力・考える力を問う問題が多数出題され、難化傾向にあります。直前期には、実務との関連性も強く出題の可能性が高い範囲を優先して確認しましょう。

頻出の範囲として、薬物動態学では『投与計画(計算問題)』『TDM(有効血中薬物濃度域の確認)』『薬物動態変動(遺伝的多型と疾患・年齢による動態変化)』。製剤学では『代表的な製剤(軟膏剤・クリーム剤の基剤や注射剤の規定)』『DDS(放出制御の仕組みとターゲティングの担体)』があります。

特に、TDMの有効血中薬物濃度域や具体的な投与方法については、禁忌肢となる場合もあるので、しっかり確認しましょう。

## 病態・薬物治療

近年の国試は、病態・薬物治療の範囲と情報・検定の範囲から満遍なく出題されています。

病態・薬物治療に関しては毎年よく出題される疾患があるため、まずは『既出問題をしっかりと確認』し、それらの『疾患の概念、検査、治療の流れ』をしっかりと確認しましょう。また、既出問題の少ない疾患に関しては大まかな概念だけでも確認をしておきましょう。

情報・検定に関して、情報は既出問題をしっかりと覚えれば正答できるものが多いため、『既出問題をベース』に確認しましょう。また、検定の範囲は『実際のデータを読んで解く応用的な問題』が出題されるため、既出問題や模擬試験などを使って解法をしっかりと理解しましょう。

## 法規・制度・倫理

近年の国試は、出題基準からバランスよく出題され、新傾向の内容も出題されています。既出問題の内容を理解していることで得点できる設問は多いので、特に出題頻度が高い下記項目は必ず見直しましょう。

①薬剤師法②医療法③医薬品医療機器等法④麻薬及び向精神薬取締法⑤毒物及び劇物取締法⑥薬害と健康被害救済制度⑦医療保険制度⑧介護保険制度⑨治験⑩承認後の制度(再審査・再評価、副作用等報告)⑪薬剤経済(国民医療費、薬剤経済分析)

なお、新傾向としては個人情報(個人識別符号、要配慮個人情報)、医療法(医療事故や医療安全支援センター)、医薬品医療機器等法(医療機器、再生医療等製品)などを確認しておきましょう。

## 実務

多く出題が見込まれる以下の範囲を目安に再確認し、実務で得点を伸ばしましょう。

【計算(散剤、消毒薬、NPC/N、mEq等)】国試の間326～345の中で4問は計算系です。既出問題ベースの得点しやすい問題も出題されます。既出問題を反復練習しましょう！

【注射・輸液(配合変化、電解質輸液等)】必須問題～実践問題で出題が見込めます。最終確認し、国試にのぞみましょう！

【医薬品関連(相互作用、副作用等)】近年、用法用量よりも出題が多いです。副作用は初期症状まで確認しましょう！

【管理(麻薬の廃棄、血液製剤の管理等)】実務、法規と2科目に絡む範囲です。両科目のポイントを押さえておきましょう！

添付文書を網羅。さらに専門家の解説を加えた治療薬年鑑

# 治療薬マニュアル2019

監修 高久史磨  
公益社団法人  
地域医療振興協会・会長  
矢崎義雄  
国際医療福祉大学・名誉総長

編集 北原光夫  
農林中央金庫健康管理室・室長  
上野文昭  
大船中央病院・特別顧問  
越前宏俊  
明治薬科大学教授・薬物治療学

web電子版の  
使い方を解説  
chimani.jp

- 調剤や説明など、薬局での業務に必要な情報を網羅。
- 薬剤師が編纂した添付文書情報+専門医が執筆した臨床解説。
- NEW 「診療報酬における加算対象となる後発医薬品」に後マークを表示。

●B6 頁2784 2019年 定価：本体5,000円+税 [ISBN978-4-260-03666-5]

医学書院 〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 [販売・PR部] TEL 03-3817-5650 FAX 03-3815-7804 E-mail sd@igaku-shoin.co.jp http://www.igaku-shoin.co.jp 振替 00170-9-96693

本書購入特典  
web電子版  
全面リニューアル!  
さらに便利になりました

好評  
発売中

全文検索だけでなく、「薬品名」「適応症」「識別コード」などの条件検索に対応

パソコン(Windows、Macintosh)でも利用可能

好評発売中

実務実習に最適!